

地理 B

共通テスト初年度について

傾向

- 大問数は5題、小問数は32問で、センター試験からは減少しましたが、2018年度試行調査からの変化はありませんでした。問題文の分量や図表はセンター試験より増加したため、問題の設定や意図を素早く読み解く読解力が必要とされました。
- 大問ごとの出題テーマは試行調査とほぼ同じであり、第1問では探究的な学習を想定した出題が見られました。一方、センター試験で出題された比較地誌に関する問題は第1日程では出題されませんでした(第2日程で出題)。また、全問題の半分以上が組合せ形式の問題でした。図表の特徴や変化を読み取る確実な知識が必要となりました。
- 難易度は、とくに第1問において、題意をつかみにくく判断が付きにくい図表が多く見られたため、全体的にセンター試験や試行調査よりもやや難化しました。第4問、第5問の比較的平易な問題において、ケアレスミスをせず、確実に得点を積み重ねることが重要になります。

出題内容

大問	出題内容	難易度		
		やや易	標準	やや難
1	世界の自然環境			●
2	産業		●	
3	都市と人口		●	
4	アメリカ合衆国地誌		●	
5	京都府宮津市の地域調査		●	

パワーマックスについて

編集方針

- 2021年度共通テスト本試験や試行調査を踏まえた形式・難易度のZ会オリジナル模試を5回分収録しています。
- 大学入学共通テスト問題作成方針に示されている、「**地理に関わる事象を多面的・多角的に考察する**」力を養うことを重視した問題設定となっています。

書籍の特長

- 地理の特徴でもある統計資料・地図・図版など**多様な資料の読み取りを必要とする問題を多数出題**しました。
- 資料から得られる情報と**地理の知識を結びつけ、多面的・多角的に考察する問題を、様々な分野から出題**しています。様々な資料問題に当たることで、**資料読解力・考察力を養う**ことができます。

パワーマックス 地理B 出題一覧

	大問	出題内容	解答目安時間	難易度		
				やや易	標準	やや難
第1回	1	世界各地の自然特性と人々の生活	12分		●	
	2	世界の穀物生産と日本の農業	12分		●	
	3	世界の民族対立	12分	●		
	4	アフリカ地誌	12分		●	
	5	地域調査(千葉県山武市)	12分			●

	大問	出題内容	解答目安時間	難易度		
				やや易	標準	やや難
第2回	1	世界の自然環境と自然災害	12分	●		
	2	資源と産業	12分		●	
	3	世界の都市と生活、観光	12分		●	
	4	フランス地誌	12分			●
	5	地域調査(長野県)	12分		●	

第3回	1	世界の自然環境	14分		●	
	2	世界の第1次産業	12分		●	
	3	世界の生活文化と資源	10分		●	
	4	オーストラリア地誌	12分		●	
	5	地域調査(大阪府岸和田市)	12分			●

第4回	1	世界の自然環境	12分		●	
	2	世界の鉱工業	12分			●
	3	都市と村落、生活文化	12分	●		
	4	アジア地誌	12分		●	
	5	地域調査(青森県青森市)	12分		●	

第5回	1	世界の自然環境	12分	●		
	2	世界の資源と産業	12分		●	
	3	都市・村落と生活文化	12分			●
	4	オセアニア地誌	12分		●	
	5	地域調査(岡山県)	12分			●